

事業群評価調書(令和3年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	地域振興部 県庁舎跡地活用室	苑田 弘継
施策名	3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	③ 県庁舎跡地整備の推進	令和2年度事業費(千円)	※下記「2. 令和2年度取組実績」の事業費(R2実績)の合計額	153,170

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)							
長崎市の中心部に位置する県庁舎跡地において、様々な交流の場や憩いの空間を整備し、この地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創出を進めます。なお、早期に賑わいを創出するため、使用可能な箇所から先行して活用を進めていきます。		i) 県庁舎跡地に整備する主要機能及びその詳細な機能並びに規模等の検討 ii) 長崎市中心部における県庁舎跡地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創設 iii) 賑わい創出や交流人口の拡大のための機能等の整備と企画運営の仕組みづくり							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 令和3年2月に埋蔵文化財調査が完了し、敷地全体の遺構等の状況が確認できたことから、整備する機能の配置や規模等について整理を進め、同年6月、基本構想の骨子案を、9月に構想素案をとりまとめた。また、既に更地となっている第二別館跡地等の使用可能なスペースを活用し、地域の皆様との連携による先行的な賑わいづくりを推進した。
	県庁舎跡地の整備(賑わいづくりに向けた先行整備)	目標値①	供用開始	—	—	—	—	供用開始(R3以降)	
	実績値②	—	/	/	/	/	/	進捗状況	
		達成率②/①	/	/	/	/	/	—	

2. 令和2年度取組実績(令和3年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和2年度事業の成果等	
				R元実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R元目標	R元実績		達成率
				R2実績					R2目標	R2実績		
				事業実施の根拠法令等								
			事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)						
			所管課(室)名	事業対象								
取組項目 i ii iii	○	1	跡地活用検討経費	30,832	30,832	39,770	活用策の検討について、県議会や関係者に広くご意見をお聞きしながら、委託事業者からの検討報告書の内容等も踏まえ、「広場」、「情報発信機能」、「交流支援機能」の整備等について議論を深めた。こうした中、令和3年2月に埋蔵文化財調査が完了し、敷地全体の遺構等の状況が確認できたことから、基本構想の策定に向け、整備する機能の配置や規模等について、さらに整理を進めた。 このほか、第二別館跡地等を活用し、地域と連携した様々な活動に取り組むなど、先行的な賑わいづくりを推進した。	【活動指標】	4	4	100%	●事業の成果 ・業務委託等を実施しながら、基本構想の策定に向け整理を進めた。 ・予定していた埋蔵文化財調査を実施し、敷地内の遺構等の状況を確認した。 ・第二別館跡地などを活用し、先行的な賑わいづくりを進めた。
								県議会等への整備進捗状況の報告回数(回)	4	4	100%	
								【活動指標】	2	2	100%	
								県議会等への基本構想検討状況の報告回数(回)	4	4	100%	
								【成果指標】	着手	着手	—	
								県庁舎跡地活用策にかかる基本構想の策定	—	—	—	
								【成果指標】	着手	着手	—	
			埋蔵文化財調査の実施	完了	完了	—						
			H21-				【成果指標】	/	/	/		
			県庁舎跡地活用室	—	—	—	県、長崎市	段階的な整備の推進	着手	/	/	

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	県庁舎跡地に整備する主要機能及びその詳細な機能並びに規模等の検討	
ii	長崎市中心部における県庁舎跡地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創設	
iii	賑わい創出や交流人口の拡大のための機能等の整備と企画運営の仕組みづくり	
<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>令和3年2月に埋蔵文化財調査が完了し、敷地全体の遺構等の状況が確認できたことから、隣接する県警本部跡地を含め、機能の具体的な配置や規模等の整理を進め、県議会や関係者の皆様に広くご意見を伺い、同年6月に基本構想の骨子案を、9月に構想素案を取りまとめた。</p> <p>今後、さらに検討を重ね、基本構想の策定を進めるとともに、関係者の皆様と連携しながら、持続的な賑わいの創出につなげるべく、必要となる整備や運営の仕組みづくり等について検討を深めていく必要がある。</p>		<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>引き続き、県議会や関係者の皆様、専門家等にご意見を伺いながら具体的機能等について検討を重ね、令和3年度中に基本構想を取りまとめる。</p> <p>併せて、地域の皆様等と連携しながら、第二別館跡地等を活用した先行的な賑わいづくりを推進し、今後予定している、広場等の暫定供用における賑わいの創出につなげる。</p>

### 4. 令和3年度見直し内容及び令和4年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和3年度事業の実施にあたり見直した内容		令和4年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和3年度の新たな取組は「R3新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
取組項目 i ii iii	○	1	跡地活用検討経費	引き続き、県議会や関係者の皆様、専門家等にご意見を伺いながら、基本構想の策定を進める。 併せて、地域の皆様などと連携して、先行的な賑わいづくりを推進し、課題の検証やプレーヤーの発掘等に取り組む。	②⑥	基本構想に基づく具体的な取組の推進に向け、関係者の皆様と連携しながら、広場等の暫定供用に向けた整備の実施や運営の仕組みづくり等に取り組む。	改善
			H21-				
			県庁舎跡地活用室				

注:「2. 令和2年度取組実績」に記載している事業のうち、令和2年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せていないか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点